

太陽光発電所の窃盗対策

～ケーブルへの3つの対策～



抜けない

切れない

価値がない

・地中に埋める

転がし配線は盗難リスクが高いです。
配管等を地中に埋めて簡単には触れられないようにしましょう。

・固定する

ケーブルは間隔を短く固定し、容易に引き抜かれないようにしましょう。
ケーブル配管内に特殊な溶剤等を注入することで、ケーブルを固定して盗みにくくし、盗難被害を免れた例もあります。
盗むのに時間や労力が必要とわかれば盗まれるリスクは下がります。
ケーブルが切断されても盗まれなければ、復旧工事が容易に、費用が少なく抑えられる場合があります。

・集電箱付近の強化

集電箱付近のケーブルが露出していると、その部分から切断されてしまいます。
防護柵、鋼管等で覆い、強化しましょう。

・銅からアルミへ

アルミの価値は銅の1/4程度
盗んでもお金にならないアルミ
ケーブルを導入し盗まれない環境
に。

対策すれば、狙われない



犯人は下見をします。
犯人に盗みにくそうと思わせる環境づくりが大切です。
多言語ポスターを掲示すると、日本語が読めない外国人にも注意喚起できます。
防犯対策をしっかりしていることを知らせて、犯行を諦めさせましょう。